

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもデイサービス にじのとびら		
○保護者評価実施期間	2024年12月6日		2024年12月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 1名	(回答者数)	1名
○従業者評価実施期間	2024年12月6日		2024年12月25日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月10日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童の意見ややりたいことを取り入れ、活動やおやつの内容を自分で選択する機会を増やすことによって、自分で考える力を身に付け、責任感を育んでいます。	個々の特徴に合わせて表やボード、別室を使用し、目標を簡潔に示し目標達成に向けて利用者と保護者や関係機関と情報交換をしながら支援しています。また、担当制を設けることにより、より密に接していけるように工夫しています。	個々の成長や特徴に合わせた、ツールや環境の改善、追加を図っていきます。また、集中しやすいように移動式の壁を導入していきます。
2	地域のイベントや施設見学、外食などの行事を積極的に行うことで、社会のルールや選択の幅を広げていきます。また、他児や職員と「楽しい」を共有することにより、人への思いやりや優しさを養います。	カンファレンスやミーティングを定期的に行うことにより、職員間での情報交換や支援方法の検討等を行っています。また、より迅速に対応できるように必要に応じて緊急ミーティングも行っていきます。	研修に積極的に参加し、各職員の知識の向上を図って積極的に情報交換を行っていきます。
3	個々の特徴や課題、家族や本人のニーズに応じた支援計画を作成しています。その際、必要に応じて面談を行っています。	季節事や外出を取り入れてイベントの充実を図っています。外出時には買い物学習やお店見学などに取り組み、社会性も身に付けていきます。	利用者と保護者の方の意見が反映しやすいように定期的にアンケートを実施していきたいと思っています。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童の平均年齢の向上により、活動内容によって狭いと感じてしまうことがあります。	事業所の施設の大きさや広さの関係上、活動内容や利用人数によって制限がかかってしまいます。	ミーティングにて事前に考えられる危険やヒヤリハットを極力排除することにより、利用者の安全、安心を守っていきます。また、系列店舗との交流や体育館を使用を増やしていきたいと考えています。
2	送迎時の申し送りや面談等で、保護者の方との情報交換や意見交換を行っていますが、保護者会や実際の活動の様子を見てもらう場の提供ができていませんでした。	保護者会の場所、時間や内容の調整を再度検討中です	日程を調整しつつ、個別で参観日や施設内の見学等の実施を検討していきます。
3			